

日本臨床検査専門医会

平成 25 年度第二回常任幹事会議事録

平成 25 年 9 月 25 日

日本臨床検査専門医会 平成 25 年度第二回常任幹事会議事録

開催日時：平成 25 年 9 月 25 日（水）15 時 00 分～16 時 30 分

開催場所：日本臨床検査専門医会事務局

出席者：佐守 友博会長、木村 聡、小柴 賢洋各副会長、菊池 春人、
高木 康、東條 尚子、米山 彰子各常任幹事、
高橋 伯夫、土屋 達行各監事

欠席者：池田 均、佐藤 尚武、下 正宗、渡邊 卓各常任幹事

事務局：市川 綾子 (敬称略)

定刻、佐守 友博会長挨拶の後、議長として佐守 友博会長を満場一致で選任した。議長は議長席につき開会を宣した。

審議事項

第一号議案 議事録署名人選任について

議長は本会の議事録署名人の選出を議場に諮ったところ満場一致をもって次のものを選任した。

議事録署名人 高木 康常任幹事、米山 彰子常任幹事

報告事項

1. 各種委員会、WG 報告

① 情報・出版委員会

池田 均委員長に代わり、東條 尚子庶務・会計幹事より報告があった。LabCP (31 巻 2 号) は、「超音波検査の報告書作成：臨床検査専門医の役割と実践」として準備中。また、臨床検査振興セミナー会員アンケート集計報告の執筆を木村聡副会長にお願いしている。JACLaP News、JACLaP Wire は順調に発刊している。日本衛生検査所協会広報誌ラボの新しいシリーズ、「健康診断での検査の意味を知ろう」が、平成 25 年 4 月から開始している。

② 教育研修委員会

菊池 春人委員長より、以下の報告があった。第 60 回日本臨床検査医学会学術集会において、「臨床検査を学ぶ若手医師の集い」を日本臨床検査医学会（教育委員会委員長 山田俊幸先生）と当会が共催して開催する。専門医数増加方策検討ワーキンググループが中心となって協力する。会員には、募集案内をメールで配信した。

③ 資格審査・会則改定委員会

渡邊 卓委員長に代わり、東條 尚子庶務・会計幹事より、特になしと報告があった。

④ 渉外広報委員会

木村 聡委員長から、平成 25 年 7 月 19 日（金）東京ガーデンパレスで行われた第 30 回臨床検査振興セミナーについて報告があった。約 80 名（うち専門医会正会員約 20 名）の参加があり、質疑応答など盛況であった。

⑤ 保険点数委員会

佐藤 尚武委員長に代わり、東條 尚子庶務・会計幹事より以下の報告があった。平成 26 年度診療報酬改定に向け、内保連を通じて厚生労働省に提出した提案書は、下記の 11 項目であった。なお、生理検査管理加算（未収載項目）は、内保連のヒアリングの結果を受け提案を取り下げ、トレッドミルによる負荷心肺機能検査、サイクルエルゴメーターによる心肺機能検査（既収載項目）は、日本心臓病学会の提案書に一本化した。8 月 5 日（水）に厚生労働省によるヒアリングがあり、「血液採取」および「蛋白分画（生化学検査）の増点および包括規定の見直し」の 2 項目について説明した。「血液採取」については厚生労働省側からの要望に応じて後日追加資料を提出した。

また、内保連より厚生労働省に対し、「生体検査に関する提言書」ならびに「病原微生物遺伝子検査について（検討のご依頼）」を 8 月 23 日（金）に提出した。

記

日本臨床検査専門医会から厚労省に提出した提案書

既収載項目

1. 皮膚還流圧測定検査（SPP）（項目設定の見直しと増点）
→ 日本臨床検査医学会、日本循環器学会、日本動脈硬化学会、
日本皮膚科学会、日本血栓止血学会との共同提案
2. 血液採取（増点）
3. 蛋白分画（包括対象項目からの除外）
4. シスタチン C（適応拡大）
5. 終夜睡眠ポリグラフィー（増点）
6. 悪性腫瘍遺伝子検査（増点）
7. 血液細胞核酸増幅同定検査（増点）

8. Major bcr-abl 核酸増幅精密測定 (増点)
9. UDPグルクロン酸転位酵素遺伝子多型 (増点)
10. サイトケラチン(CK)19mRNA (増点)
11. WT1 mRNA 定量 (増点)

⑥ 専門医数増加方策検討WG 報告

三宅 紀子 WG 長に代わり、木村 聡副会長から以下の報告があった。臨床検査専門医を広く理解してもらうため、本会ホームページに「ぼくらは臨床検査専門医」という企画を立ち上げた。教育研修委員会から報告があったように、「臨床検査を学ぶ若手医師の集い」で専門医を目指す医師のリクルートを図りたい。

⑦ 専門医別ネットワーク構築のための WG

佐守 友博 WG 長より、会員に対して行うアンケートを作成中との報告があった。

2. 会長・監事選挙について

三宅 一徳選挙管理委員長に代わり、東條 尚子庶務・会計幹事より以下の報告があった。会長・監事選挙は予定通り進んでおり、9月24日(火)に投票を締め切った。9月28日(土)に選挙管理委員会により開票作業が行われ、その結果は速やかに当会ホームページに公表される予定である。

3. 第43回日本臨床検査専門医会総会における講演会について

佐守 友博会長より、講演タイトルの変更ならびに司会を以下にする旨の報告があった。

記

開催日時：平成25年10月31日(木)

開催場所：神戸国際会議場1F メインホール(第一会場)

講演会 14:10~15:00

テーマ 臨床検査医の職能を発揮するために

司会：東條 尚子(東京医科歯科大学)

演者：佐守 友博(日本臨床検査専門医会 会長)

4. 第2回日本臨床検査専門医・管理医審議会報告

東條 尚子庶務・会計幹事より、平成25年8月25日に開催された、平成25年度第2回日本臨床検査専門医・管理医審議会の報告があった。第30回臨床検

査専門医資格認定試験結果について審議された。また、本年9月15日（日）に開催される臨床検査管理医認定試験受験資格審査ならびに開催要領について報告があった。

佐守 友博会長から日本臨床検査医学会 受験・資格更新審査委員長 土屋達行先生宛てに、専門医会で構築予定の専門分野別ネットワークを用いた会員間の分野別 Q&A において、質問に対し正確かつ真摯な回答を行った専門医会会員に対して、日本臨床検査医学会の専門医・管理医の受験資格あるいは、資格更新の際の研修単位として認めていただきたい旨の要望書が提出された。この要望については、ネットワークの運用が開始されてから検討することです承された。

5. 「全国検査と健康展」(日本臨床衛生検査技師会主催)からの協力要請について

佐守 友博会長から以下の報告があった。日本臨床衛生検査技師会の「全国検査と健康展」の事業に共催することを第二回全国幹事会(平成25年6月28日)で決定したが、今年度は、この中の「臨床検査専門医による健康相談」に対し、群馬県技師会(11月16日(土))、京都府技師会(10月26日(土))、兵庫県技師会(11月3日(日))の3府県から医師派遣の依頼があったので、常任幹事・全国幹事に協力を要請する予定である。なお、今年度の交通費は臨床検査振興協議会から支給される。

6. 第60回日本臨床検査医学会学術集会共催シンポジウムについて

佐守 友博会長より、以下の報告があった。「医療機関として病院はいかに検査センターとの互惠関係を育むか」を企画し、司会は、盛田 俊介幹事(東邦大学医療センター大森病院臨床検査部)と河野 誠司幹事(神戸大学医学部附属病院検査部)が行う。平成25年9月24日(水)、東邦大学にてシンポジウムの打ち合わせを行った。

7. 第60回日本臨床検査医学会学術集会における各種委員会特別企画について

佐守 友博会長より、以下の報告があった。第60回日本臨床検査医学会学術集会時、日本臨床検査医学会チーム医療WGが「臨床検査とチーム医療～臨床検査医学会としてどのように取り組むべきか～」を企画した。日本臨床専門医会からは村上 純子全国幹事がシンポジストとして参加する。

以上をもって全議案の審議並びに報告を終了したので、議長は閉会を宣し解散した。

議事録署名人

平成 25 年 11 月 18 日

高 木 康

平成 25 年 11 月 29 日

米 山 彰 子
